



# しゅら



## 脇小に待望のプール完成



### はしやぐカツパたち

「ワイ、ボクらのプールが完成しそが」  
脇小小学校に待望のプールが完成し、去る八月一日関係者が集まり完工式を兼ねてプール開きを行いました。完成したプールは長さ二十五メートル、深さ九〇センチから一メートルでスタター台つきの八コース。六月上旬から夏休みに間に合わせようと建設を進めてきたもの。プールのほかに、更衣室、シャワー、トイレなどの付帯設備も完備されており、総工費二千六百六十万円が費やされた立派なもので管内小学校では三番目のプールです。

この日は、午前十時から白川村長や斎藤教育長ら関係者二十人が集って、プールサイドで修ばつ式、松橋徳夫宮司がおはらいをしたあとテラプカット。次いで榊沢水泳クラブ大村圭二副会長、榊ヶ沢高校水泳部生駒康将、盛邦仁君が見事な模範泳法を披露した後一年生から六年生までの全児童がさっそく新しいプールにとびこみました。大村さんから上手な泳ぎ方を指導された子どもたちは、ジリジリ照りつける太陽の下で、お互いに水をかけあたり、得意のクロールを披露しながら、元気な歓声を上げていました。

昭和53年 8 月号

# 第十六回郡老連大会

## 老令年金の増額なども要望

老人福祉の向上を図ろう—と第十六回北部老人クラブ連合大会は、八月三日午前十時市浦中学校体育館に都内から四百人の老人を集めて行われました。

大会は、物故者に対する慰問、山田昌男郡連合会長のあいさつに始まり、相内保育所の木村方昭ちゃんと島津利



400人が参加した大会場

加子ちゃんから、「おじいちゃん、おばあちゃんおめでとう。これからも元気で長生きしてください」と花束の贈呈がありました。続いて、長い間社会に貢献して来た八十才以上の夫婦八組、九十才以上八名を顕彰したあと、老人福祉に特に功績のあった十一人へ表彰状が手

続き、長い間社会に貢献して来た八十才以上の夫婦八組、九十才以上八名を顕彰したあと、老人福祉に特に功績のあった十一人へ表彰状が手

続き、長い間社会に貢献して来た八十才以上の夫婦八組、九十才以上八名を顕彰したあと、老人福祉に特に功績のあった十一人へ表彰状が手

続き、長い間社会に貢献して来た八十才以上の夫婦八組、九十才以上八名を顕彰したあと、老人福祉に特に功績のあった十一人へ表彰状が手

続き、長い間社会に貢献して来た八十才以上の夫婦八組、九十才以上八名を顕彰したあと、老人福祉に特に功績のあった十一人へ表彰状が手

- 表彰者  
成田八雄、坂井健三郎

- 顕彰者  
九十歳 村山正三、渋谷みよ、古川りつ

渡されました。

来賓として出席した花田一、原田一英、木村章一各県議会議員から次々祝辞ののべられたあと、山形正副会長から「社会に貢献して頂くためにも教養を積み、みんなに愛される老人となり、老人福祉の向上を図ろう。」と力強い大会宣言がありました。

次の開催地を小泊村に決めたあと、①老令年金を月額三万円に増額してもらいたい。②単位クラブに支給されている補助金を十二万円に増額してもらいたい。③百歳以上の高令者死亡の際に各町村に町葬又は村葬を行うべき条例の設置を要望する。④老人クラブに対して、福祉バス利用の際は無料にしてもらいたい。の要望事項を決めて閉会しました。

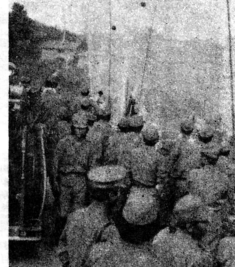
なお、大会が終わってから単位老人クラブから余興を出しあい、なごやかなひとときを過ぎました。

本村関係の顕彰者及び表彰者は次のとおりです。

■顕彰者  
九十歳 村山正三、渋谷みよ、古川りつ

- 表彰者  
成田八雄、坂井健三郎

## 式観消防勢ぞろいも団員



各分団代表の玉落し競技

市浦村消防団の定期観式が八月十四日、団員百八人、消防自動車三台、可搬式ポンプ七台が参加して盛大に行われました。

午前八時から相内橋下流で各分団による玉落し競技をしたあと、太田、相内本村のめぬき通りをパレードし、火の用心を呼びかけました。

市浦中学校グラウンドに会場を移し、白川治三郎村長の観閲を移し、関兵人員服装点検、機械器具の点検、市浦消防署の訓練札式のと各分団のポンプ操法があり、テキパキと操法訓練する団員に盛んな拍手がおこられていました。

次いで、優良団員の表彰及び感謝状の授与、玉落し競技の賞品授与があり、白川治三郎村長の講評、秋田谷納団長

の訓示のあと、工藤一雄副団長、三和孝徳相内郵便局長から祝辞がありました。

- 感謝状贈呈者  
工藤鉄之助、大性誠、糸谷幸治、山田光雄、今初栄、佐々木弘、葛西嘉雄、山田嘉志雄、葛西秀勝、竹谷友三郎、三上雅美、加納嘉代作、鳴海善三郎、植野四郎
- 玉落し競技の成績  
第一位、第一分団第二部、第二位、第一分団第一部、第三位、第三分団第一部

## 小型ポンプ積載車を購入

村ではこのほど、小型動力ポンプ積載車を購入し、第四分団(太田)に配置しました。これは、走行中の振動が少なく、安全確実に固定でき、積みおろしもワンタッチでできるリール式のもので、価格は、百六十八万円です。村では、これまで第二分団(脇元)にも配置していますが、火災発生時の消火作業にその威力を発揮しています。

なお、火災発生時には、消防自動車が現場へ急行しますが、初期消火を図るためにも消防車の通行を優先させるようご協力ください。



購入されたポンプ積載車



# 税のしおり

## —マイホームと税金—

マイホームづくりに、黄金計画や設計などいろいろな問題がでてきます。税金もその一つです。マイホームづくりに関係のある税金について、簡単に説明しましょう。



▽登録免許税(国税)  
所有権の取得に関する登記の際にかかる税金です。ただし、新築住宅の登記には、たいてい、簡単に説明しましょう。

にかかると税金で、この税金も一定の要件に当てはまると税金が軽減されます。  
▽所得税の住宅取得控除  
住宅を新築したとき、新築住宅を購入したときで、一定の要件に当てはまると、最高三万円ずつ三年間所得税から控除されます。また、民間の金融機関等から償還期間十年以上の融資等を受けて新築住宅を取得し、本年一月以後に居住した場合は、最高三万円ずつ二年間所得税から控除され、合計で最高六万円の控除を受けられることとなります。

## 戦傷病者戦没者遺族等 援護法や恩給法等が一部改正

戦傷病者遺族等援護法及び恩給法等が一部改正になりました。

1. 障害年金、遺族年金、遺族給与金、公務扶助料等の額が昭和53年4月から7.18%増額され、6月から更に増額されることになりました。
2. 遺族年金、遺族給与金は、毎年2回に分けて支払われてまいりましたが改正され、毎年1月、4月、7月及び10月の年4回に支払われることになりました。実施は本年11月からです。
3. 満洲開拓青年義勇隊員は、昭和14年12月22日以後の死亡者等について、準軍属として扱っていましたが、この期間が改正され昭和12年12月30日以後の死亡者等についても適用されることになりました。これにより傷病者には障害年金を、死亡者には、遺族年金等が支給されます。
4. 戦没者の父母等で、前回の30万円の特別給付金を受給した後、満額償還になっている父母に対し、更に60万円(国債)が支給されることになりました。

なお、前回の10万円又は30万円を時効失権により受給できなかった者も対象になります。

5. 旧軍人の在職期間が引続き3年以上、7年未満の者には一時恩給が支給されており、在職期間が引続かない場合でも合算して3年以上ある者に一時金が支給されることとなります。(昭和53年10月1日から)

以上は、改正された主な事項ですが、詳しいことは市町村役場または、県障害福祉課へお問い合わせください。

## 国民年金の 特別納付制度の活用を

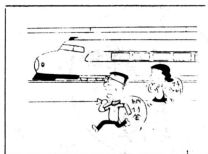
今年の七月からは、国民年金の未納保険料の特別納付制度をご存知ですか。

一時の思い違いや、忙しさなどにまぎれたり、経済上の理由などから当然強制適用被保険者の資格があるのに、国民年金にまだ加入していなかった人や、保険料を滞納して時効にかかり、年金権を失ってしま

った人などについて、昭和五十三年の七月から二年間に限って、未納保険料を払い込めば年金権が与えられるという、臨時の特別な制度ができました。

この特別な制度は、保険料を納めなかつた期間について、一月につき四千円という、普通の被保険者より相当高い保険料を払い込めば、年金が受けられることになるしくみですが、一時に納めにくい人のために、期限内なら分納の方法も設けられています。

詳しいことは、市浦村国民年金係にご相談ください。



## 協元岩木山神社大祭

恒例の協元岩木山神社大祭は、9月3日行われます。行事は次のとおりです。

と	き	行	事
2日	18:30	前夜祭・だんぶりの会バンド演奏 盆踊り大会	
3日	10:00	登山行列出発・駒踊り大会・自衛隊 音楽隊演奏会・登山ばやし大会・芸能 大会・その他	

### 津軽の先住民族



▶ 8 ◀

## 津保化族

豊島勝蔵

①

阿留部が盛のアンペ族が津軽の山里河海をばつ渉し、豊かなる食物に舌鼓を打ち、安穩な生涯を営々と楽しんで、子孫幾世代も過ぎた頃から約二千年後と推定します。つまり紀元前七・八千年頃、次なる民族がわが津軽に移住して来ました。その名をツボケ族といいま



津保化族  
アンペ族に続いて古代津軽に、そして市浦村近くの海岸に漂着したといわれるツボケ族。(村史資料編上巻より)

す。漢字に当って津保化族と書きます。津軽をたかたを国土に保った民族という意味で、後人の誰かが当てた漢字でしょうか。

### 祖先はツバング族

このツボケ族の祖先は、ツバシ・ツバングといつたところで、ツボケ族ではなく、「疑いがなくツバシ族とかツバング族と称するのが正しい。」と、古記録が語っています。村民の皆さん、この言葉を耳にすると、なにかしらピンと頭にひらめきを感じませんか。日本のことを外国ではジャパンといいますが、これは、マルコポーロが「東方見聞録」という書物を書いた、東洋のことを西洋で紹介したのですが、その中で日本をチパングと称しています。そうしますと、ツボケ族は日本人とも解釈されます。最近、よく古代津軽には一

大王朝が建国されていたという古記録があることを聞かれます。これが定説となるにはまだまだ時間がかかることですが、なかなか、誇らしくなる思いで、フアイトが湧いて来ます。

### 朝鮮半島から移住

さて、このツボケ族が、どこから移住して来たのでしょうか。西海の果なる国、チヨリコなる国より移り来たる移民、これを津保化族と称す。「津保化族とは、支那か韓国民の一群が船にて津軽に漂着して衣食住の定まれる民族なり」と言う。「と、私たちの古記録には表現されています。西海の果ては、日本海の西のはずれですが、現在の朝鮮半島の国が、中華人民共和国の国に当たることは間違ひありません。

しました。というのは、古代朝鮮の一部に漢語と呼ばれていた国があったことに思い及んだんです。チヨリコとチコロと音がとても似ていることから、ツボケ族の発祥地を朝鮮半島の漢語にたつたわけです。また、「これがツガルと称されし館なり。」という文から考え、ツバシ・ツバングから津軽の語が生れたとしていえますけれど、漢語から津軽となつたという説もありますので、ツボケ族の発祥地を漢語に求めたわけでは

### 五千年前津軽湾に

五千年前の第四間氷期のピークに向かっている時であり、気運もあたたかであつたらうし、日本海の水量も豊富であつたので、ツバシ族・ツボケ族が新天地を求め、海流にさかろうことなく、わが津軽の市浦村近くの海岸、古代津軽湾の海岸に漂着したので、アンペ族に続いて、ツボケ族が渡り来て、津軽はいよいよにぎやかになつていきます。

### 東日流弁

（寛政年間 一七八九—一八〇二）

### ■物言及び通弁

- チヂル(伏す) ゴボ
- ヒ(音する庇) ヨギ(寝着物) ミヤクカ(宮車) タンコウ(切腹) アレド(加勢)
- ギリ(切腹) アレド(加勢)
- バックラ(暴ふ) ジャボ(髪) イドシ(落穴) ドンチク(奇襲) カゴル(包圍) ポチケル(落城) マデ(二階) ミアグリ(修了)
- アバラツキ(死刑) ペロツト(伏兵) シغد(急使)
- カナガシラ(かぶと) ヤメル(痛む) ケニン(忍術)
- カチガイネ(取る) ホツケル(倒る) ホケ(たる木)
- ダンキ(雷聲) カラスツギ(さらし首) イロカクテ(兵糧) ツキ時(ガコ(水) カチチ(なやみ)
- イキトドメ(殺す) トツグ(勝つ) ホツツ(火種)
- ミツザ(台所)

村史資料編上巻より



# こわかったはいしゃ

十三小2年 榎谷由美子

のをぬいたので、とても良かったです。  
私、またはいしゃに来なければならぬのかなあと思っていたら、「こどこどくてもいいよ」とかんごふんがいたので、さっぱりしました。



歯の思い出  
と、今年転  
動なきつた理科の先生のこと  
を思い出します。ある日、先生は、急に老けた顔をして教室に入ってきました。

## 歯の思い出

市浦中三年 川村洋子

きょう、はじめてはいしゃにいききました。ぬかすをつけて、ペンチみたいなものでぬかしました。まだ、すこしいかないししうごいていないの。

入れ歯忘れてきたんで、ちよつとおかしばって我慢せいやの。」と言つたので、みんな大笑いをしてしまいました。は授業がでない程でした。きつと先生は、その日一日困つた思いをしたのではないかと思います。

私も歯ではたいへんな思いをしたことがあります。中学二年生の時、虫歯のために一日中何も食べられなくて、水ばかりガブガブ飲んで過したことがありました。その前の晩もあまりの痛さに布団の中

虫歯については、みなさんにもいろいろ思い出があると思いますが、歯の衛生週間（六月四日～六月十日）にちなんで小中学生に虫歯についての思い出や、歯の健康についての考え方について作文を書いていただきます。今回はその中から、児童生徒二名の作文を載せることにしました。

その時はもう、痛みを止められないのなら死んでもいいとさえ思いました。

次の日、師に送ってもらい医書に行きました。診察室に入っていくと見たこともないような機械がズラリと並べられていました。もう逃げ出したい思いました。その日は初めてだったので、痛み止めもつけてもらいました。二回目、痛みの原因である歯を抜いてくれたので、そんなに痛くはありませんでした。あの苦みぐみのことを思うと、歯をみがくのをさぼるのはやめようと思えました。

## 痛くなつたらすぐ治療

作文を書いた二人のよう、歯をぬかされ「先生、血が止まないの、何かして下さんい。」という保健室に来る生徒がよくいます。実際に歯検診の記録をとっていても、歯を抜いている人がたくさんいます。それも、抜いてそのままにしている人が多いのです。中学生では、歯

芽もほとんど成長していませんので、抜いたままにしておく歯が変方向にはいたりして歯並びを悪くします。歯並びが悪いと、消化不良、発音障害など成長に悪影響をおよぼします。今年の歯牙検診の結果でも、歯並びが悪くて治さなければならぬ人が目立ちました。

歯を抜くほどまでになるためには、痛みもあつたはず、痛くなってすぐ治療したのです。できれば、痛くなる前に（歯牙検診結果を利用して）治療してほしいものです。いくら医療技術が進んだからといっても、自分の歯以上のものはありません。自分の歯です。もっと大切にしよう。

市浦中保健教諭 七戸静子

## 窓の戸籍



お誕生



二輪編



おくやみ

小山斗空馬 磯松 文夫	秋田谷 忠雄 桂川	外崎 高世(五所川原)
三浦 夏子(相内) 久造	澤田 昭子(金木)	内藤 秀義(十川)
秋田谷 幸一 桂川 清春	相川 勝十(三)	小泉 小く(江茨城)
亀田 淳志(十三) 雄三	木村 弘子(北海道)	山田 武敏(脇元)
成田千夏子(脇元) 茂廣	三上 敏男(脇元)	山崎 和子(小泊)
白内 紀子(名古屋) 直美	角田 昭子(北海道)	萬谷 ヨツ(脇元) 76歳
濱田 友和(十三) 一則	櫻浦 昭一(三)	山田 忠哉(脇元) 18歳
濱田 美季(十三) 司	安保しげ子(相内)	岡本金九郎(相内) 68歳
	鈴木 勝俊(中里)	三浦 みち(相内) 83歳
	馬淵 厚子(相内)	相川 ちよ(十三) 82歳
	齊藤 孝静(岡内)	石沢 栄(脇元) 49歳
		三和 フヨ(相内) 84歳